第２回日本エイジグループトライアスロン選手権
エイジランキングイベントＳ大会
（ 宮崎市シーガイヤ ）

報　告

日　　時：2019 年 10 月 27 日（日）
スタート：9 時 00 分
参加者数：日本選手権男女 120 人（一般 300 人）
距　　離：スタンダードディスタンス 51.5 ㎞（スイム：荒波により距離変更 700m）
結　　果：総合 24 位
（年齢別 3 位）
総合タイム 1 時間 57 分 21 秒（ http://www.jtu.or.jp/results/2019/miyazaki_age.pdf ）
スイム 0.7km 11 分 07 秒（21）・バイク 40km 1 時間 08 分 50 秒（29）・ラン 10km 37 分 24 秒（16）
※（ ）内はカテゴリー順位

日本トライアスロン連合主催ランキングイベント最終戦。
日本一決定戦でもあり、ランキングが確定する重要な大会でもある。同時に戦い抜いた選手たちが来季へ向けて魂の嵩上げをする場でもある。

ここへ出場するには厳しい条件があり、選ばれしものが立てる場で誇り高き所。そこへシーズン最大の力を発揮すべく鍛錬し調整してくる。夏の競技ではあるが、春と秋は気候変動の影響を受けやすい。結論から言えば自分がそこへはまってしまった。夏用に仕上げきった体が涼しさに対応しないのだ。追い込めず力が入らない体にヤキモキする…意気消沈しそうな感覚である。

バイクパートでは勢いよく抜いていく選手に対応できない…。正直、競技の面では悔しさと情けなさを感じた。何年競技を続けても、この感情が次へと繋ぐのだろうとも感じている。この繰り返しかもしれないのだが、一年毎が成長、いわゆる人間形成の糧となっている。

優しさというのだろうか、勝つことだけの執着やこだわりより他の大切なことを感じれるようになってきた。競技フィールド内では若い選手が喜んでいたり悔しがっている姿を見て、自分の若い時を思い出したり、それによってのアドバイスを伝えることがベテラン選手としての役目だとも感じる。

今回で 2019 年ランキングは 2 位が確定した・・・昨年はケガによって体が反応しない苦しいシーズンからは大きく成長できたが、「世界一になる！」からはまだ果てしなく遠い場所にいる。果てしない場所から、もうすぐそこだといえる場所へ引き上げるべく、また来期を目指す。

経営的感覚からは、いつになるのかわからない事業計画は力を貸せないのかもしれない。しかし、人が最も大切にしたいものを得るため、それを力にしていけることを知っている経営者は豊かな未来があるとお伝えしたい。

今後とも夢の実行へと努力を積み上げていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

トライアスリート福元テツロー






NTT
西日本
triathlon


SANDEN
32


HUUB
triathlon
MAESTRO


HUUB
SANDEN


triathlon
World Cup Miyazaki
32


SANDEN
KUROMARU






HUUB
scicon